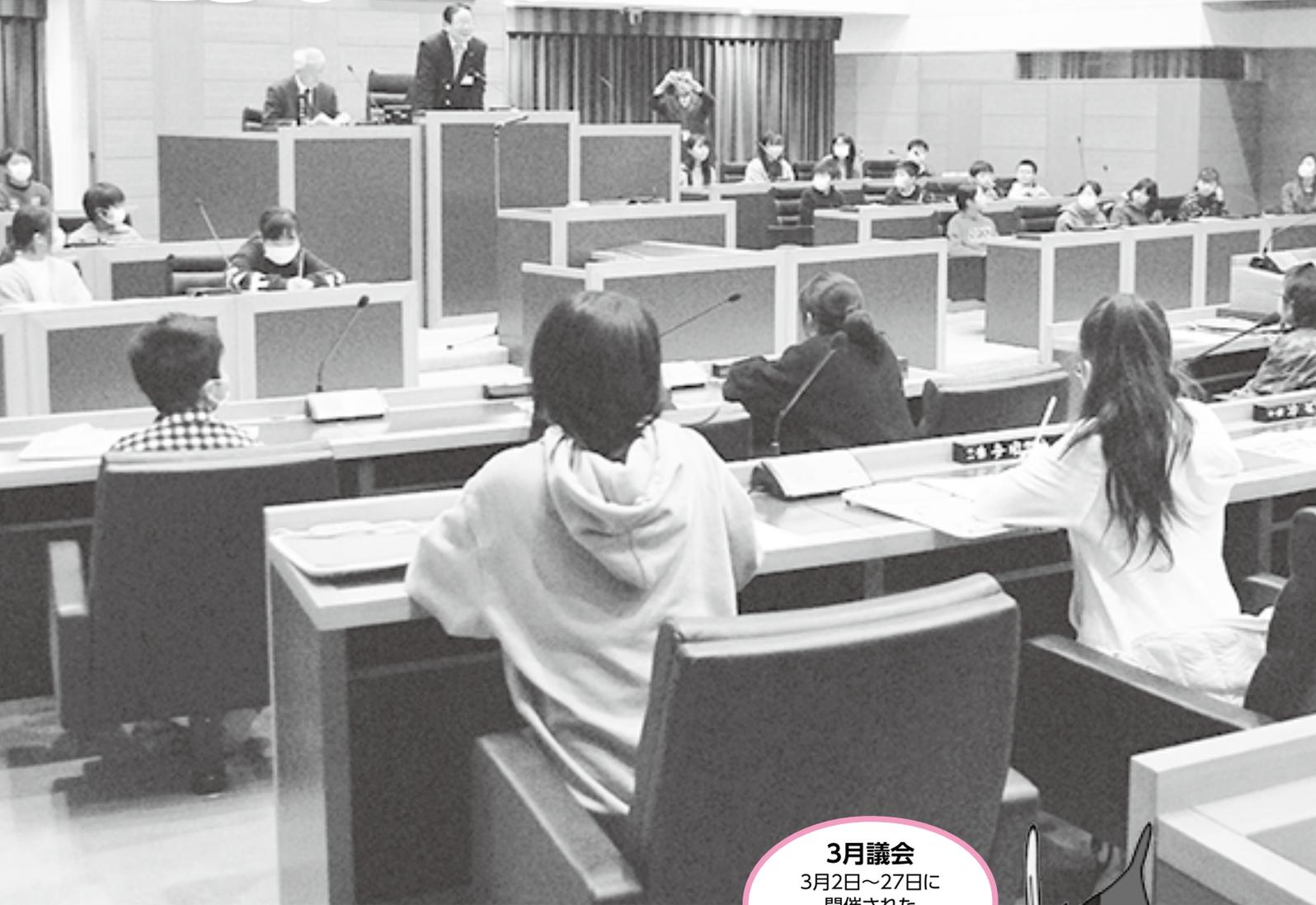


# 議会だより



▲地方自治のしくみを学ぼう!  
今年も日野小学校6年生83名が社会科の学習で日野町議会の見学に来てくれました。(1月23日)

**3月議会**  
3月2日～27日に開催された定例会の結果をお知らせします。



蒲生氏郷公顕彰会公認キャラクター  
がもにゃん

**滋賀県日野町議会**  
令和2年3月定例会号  
(令和2年5月15日発行)

INDEX

新成人の皆さんとの意見交換会	p.2~3
新年度予算決まる	p.4~5
13議員が一般質問に立つ	p.6~19
<特集> 選挙投票率を考える	p.23

# 新成人の皆さんに聞きました 戻って来たいのは どんなまち？

令和2年1月12日、180名が出席して成人式を迎えられました。  
新成人の中から5名の有志と日野町議会議員が議場で  
日野町の課題について、意見交換会をおこないました。  
ここでは話し合いの様子の一部をご紹介します。



## 新成人の皆さんとの意見交換会を開催しました！

2月19日、今年新成人になられた5名の皆さんと、町議会議員が議場に一堂に会し、まちの課題について話し合いをしました。若者ならではの貴重な意見がたくさんあり、これからのまちづくりについて大いに盛り上がりました。



にしかわ ゆうか  
西川 佑佳さん

「日野ひなまつり紀行などのイベントがあるのは町の良いところ。交通の便がもつと良くなってくれると嬉しいです」



つじくるみ  
辻 來未さん

「若い人が日野町に戻ってきたいと思えるまちづくりをしてほしいです。道の駅があったら日野町をもっとアピールできるのでは」



おくの ゆか  
奥野 由香さん

「合唱のまち・日野町が大好き。今は県外に住んでいるけど、将来帰ってきたいと思えます」



うえの ひょうが  
上野 彪雅さん

「南比都佐にコンビニが欲しいですね。これからはお年寄りも使われると思います。あと、曙団地から水口に行く道路には歩道がなく危ないので何とかできないでしょうか」



みぞえ げんき  
三添 元希さん

「公共交通機関、電車・バスがもうちょっと便利であればと思います。近江八幡から日野に向かうバスですが、夜9時が最終でその後の便がないのが、ものすごく不便です」

新成人の皆さんに聞きました！  
ズバリ、「戻って来たいまち」って??

↓やっぱり「人のつながり」が大事！

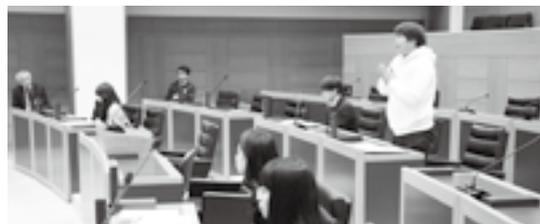
●西川さん

「今京都にいますが、近所付き合いや地域交流はほとんどありません。日野には人とのふれあいがあります。大切なことだと外に出てわかりました」

●奥野さん

「小学校の頃、地域の人たちが色々な行事やイベントを企画してくれたり、小学校の裏山整備を一緒にしたことが心に残っています。今、恩返しをしたいと自然に思えるようになりました」

意見交換会を終えて



議会として、若者と話し合う機会は多くないので、大変貴重な時間となりました。今回参加いただいた5名は全員、日野町に住みたいと話してください、私たちは地域在住の大人として非常に嬉しく思いました。まちのことを熱心に語られる姿を見てみると、「若者の政治離れ“ではなく”政治の若者離れ“なのではないかと考えさせられました。みんなが自分のまちのことを話せる機会は非常に大事です。より多様な声を聞かせてもらえるように、意見交換会だけでなく、子ども議会や若者議会の開催など、交流活動をもっと広げていく必要性を感じました。

安心をみんなで作くり住みたくなるまちをめざした

# 令和2年度 一般会計当初予算を可決

## 一般会計予算 89億100万円

### 前年度比較 1億5,800万円 減 (△1.7%)

### 町民1人あたりの予算 約41万円

令和2年度の町財政では、社会保障関係費の増に加え、多岐にわたる行政需要等、全体的な歳出の押し上げ要因により引き続き厳しい状況が続いています。生活インフラ整備の推進だけでなく、住民本位の視点に立ち、議会として住民のみなさんの、日々の暮らしを応援できるよう、取り組みます。町独自の福祉施策の維持や教育施策、商工業や農業の発展、防災・災害対策など、多くの新規・拡充事業を展開・執行されることとなります。

## 主な新規・拡充事業を中心にピックアップ

新 新規

拡 拡充

### 防災情報伝達システム整備事業 新

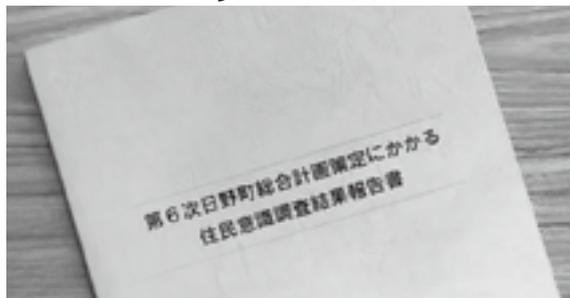
2億7,367万円



日野町版防災アプリの整備、防災行政無線の整備、戸別受信機の整備

### 総合計画策定事業 新

1,518万円



令和3年度からスタートする第6次日野町総合計画の策定

### 防災活動事業 新

1,556万円



指定避難所等へのWi-Fi整備 12基

### 消防団運営事業 新

4,354万円



日野町消防団第1分団鎌掛詰所建設工事

## 地方創生交付金事業 **拡**

**2,773万円**



地元企業、地元高校等と連携した人材育成による若者の就労支援、健康増進プロジェクト

## 路線バス対策事業

**7,581万円**



近江鉄道バス日八線の運行補助、町営バス運行を委託、車両購入の補助

## 文化振興事業 **新**

**1億582万円**



町民会館わたむきホール虹改修工事実施設計

## 図書館管理事業 **新**

**1,943万円**



日野町立図書館の長寿命化計画の策定

## 児童健全育成事業 **新**

**1億1,219万円**



西大路小学校の空きスペースを活用した学童保育所  
わたムッキー施設整備工事

## 小学校管理運営事業 **新**

**7,081万円**



西大路・南比都佐小学校トイレ改修工事実施設計  
日野小学校バックネット更新工事

## 公園管理運営事業 **拡**

**5,626万円**



大谷公園グラウンドゴルフ場拡張工事

## 地区公民館管理事業 **新**

**3,893万円**



地区公民館の長寿命化計画の策定

# 令和2年3月 町議会定例会における 一般質問内容および質問順序

発言順序・氏名		質問内容	
1	山田 人志	1.2025年の日野町を考える	P.7
2	奥平 英雄	1.五月台・椿野台の通学路の安全対策を 2.事故の絶えない大窪県道交差点	P.8
3	高橋 源三郎	1.介護予防の充実と介護ヘルパーの確保を 2.中国からの国内回帰企業の優先誘致を！	P.9
4	西澤 正治	1.利用しやすいトイレへの改修を	P.10
5	山本 秀喜	1.財政見込みとふるさと納税のあり方は 2.平和堂日野店の跡地問題は 3.これからの高齢者福祉の課題について	P.11
6	池元 法子	1.近江鉄道の存続を望む 2.食料自給率の向上、地域農業・家族農業を守るために	P.12
7	齋藤 光弘	1.防災情報伝達システムの構築に向けて 2.新型コロナウイルスの感染防止策は 3.地域医療提供体制は 4.中山間地域等直接支払交付金の活用を	P.13
8	加藤 和幸	1.新型コロナウイルスなどの拡大時における医療体制 2.不登校・ひきこもり（青年）の「居場所」づくり支援	P.14
9	中西 佳子	1.安心して産み育てやすい環境の充実を 2.食品ロス削減について	P.15
10	谷 成隆	1.スポーツ施設の整備は 2.通学路の安全確保は	P.16
11	堀江 和博	1.SDGs（持続可能な開発目標）を町政に活かすこと について	P.17
12	後藤 勇樹	1.国道307号渋滞対策、県道西明寺安部居線、町道奥 之池線の進捗と今後は？ 2.相次ぐ役場職員の失錯、不祥事。 コンプライアンス意識と指導体制は？	P.18
13	野矢 貴之	1.令和元年度 野矢の質問総ざらい ー住民参加の自治は実現されるのかー	P.19

本会議の様様をインターネットで配信しています。

(ライブ中継・録画中継)

右のQRコードを読み取ると一般質問の録画が視聴できます。



日野町議会インターネット中継

検索

# 2025年の日野町を考える



山田 人志 議員

次ページは▼

一般質問

**問** 2025年の日野町は、超高齢社会の到来とともに、地域コミュニティの維持が困難になり、過去の投資効果で抑えてきた人口減少・少子化も加速するおそれがあり、多くの課題を抱えます。

**答** 策を講じるにも、町の財政負担は一層重くなり、本気の選択と集中が求められます。そこで、近い将来に向けた執行側の認識を確認するため一問一答で質問しました。

**問** 2025年問題といわれる超高齢社会への対応のなかで、地域包括ケアシステムをどのように捉えているか。

**答** 地域包括ケアシステムは、医療・介護といった高齢者福祉の制度的な側面に加え、生活支援や介護予防がより重視される。地域活動や趣味活動、就労などの社会参画も含め、福祉制度をベースにしながらお年寄りの暮らしの全体像を捉えることが重要と考えている。

**問** 地域包括ケアは、「お年寄り」が地域のなかで安心と生きがいを持って暮らすための戦略づくりだと思いが、第7期介護保険事業計画で、どこまで完成形に近づいているのか。

**答** 完成形までの道のりはまだ遠いが、次期の第8期計画、さらに第9期計画に向けて、ひとつずつ取り組みを積み上げているところである。

**問** 2025年は、これまで地域活動の主役であった団塊の世代の人たちがしだいに活動から離れていく時期になるが、その後の地域コミュニティをどのように維持するか、考えを聞きたい。

**答** まず、地域のなかで何を優先していくかを考えることが必要だと思う。そのうえで、これまでの制度のタテ割りや「支え手・受け手」という関係を見直して、多様な主体がつながる地域をつくるこ

**問** 2025年頃から、今の子どもたちの転出機会が増えて、人口減少と少子化が加速する心配はないか。

**答** 高校卒業後に進学や就職で転出する傾向は、これまでと変わらないと思う。

**問** その傾向に、住む場所と働く場所が飽和状態に近づくことを考え合せなければならぬのではないか。

**答** 定住やUターンを促進する施策が大事になるが、多様化する「住む・働く」の選択肢のなかで考える必要がある。

**問** 2025年頃は、様々な問題が見え始めるのと同時に、町の財政事情も一層厳しくなる。5年後の財政状況の予測を聞きたい。

**答** 社会保障等の義務的経費が増え、インフラ・公共施設の老

朽化に対する投資や公債費も増加する。経費の削減や事業の見直しが必要になる。

**問** 2025年は、策定中の第6次総合計画の中間評価と見直しの時期になるが、その時点でのような評価を得るとイメージしているのか。

**答** 5年後には、中間評価をしたうえで後期計画の策定を予定しているが、町民が安心安全に暮らせる町であるために、計画に基づく事業施策が着実に実施できていることを目標にしたい。

**要望** 2025年に向けて、将来ビジョンを考える絶好のチャンスを見逃すことのないよう、専門的な知恵とノウハウを結集して総合計画の策定を進めていただきたい。

**議員のコメント** 日野町は今後、これまでの平坦な道から急な下り坂に差しかわります。ぜひ町政に関心を持ち、2025年の日野町を想像してみてください。

# 五月台・椿野台の通学路の安全対策を

## 事故の絶えない大窪県道交差点



奥平 英雄 議員

### 五月台・椿野台の通学路の安全対策を

**問** 議員との意見交換会の中で、五月台の方から、県道41号線の道路を横断せずに御代参橋を渡る通学にできないのかという意見をお聞きしています。また、五月台から椿野台の間と椿野台の出口から小井口の間も、川幅1m20cm深さ80cmの水路があり、子どもが大変危険な状態です。町は県道の通学路に対して安全対策を県に要望されているのかお聞きします。

**答** ご指摘の点については、安全点検時に現状を確認しており、今年度、県により横断歩道の前後に注意喚起を促す路面表示を実施いただきました。歩道のない区間では路肩にグリーンベルトを設置していますが、ご指摘の水路と並行している区間についても転落防護柵やポストコーンの設置を県に要望してい

るところです。設置することにより歩行スペースが狭くなるなどの課題もございますが引き続き要望してまいります。



県道41号 小井口地先の通学路



県道41号 御代参橋の横断歩道

### 事故の絶えない大窪県道交差点の安全対策を

**問** 令和2年2月11日に南大窪町から金英町、県道41号の交差点で車2台が絡む事故が起きました。この交差点は今までも町に対して交通安全対策の質問をしてきましたが、町は何か事故の起こらないように対応をされたのか。また、県に対して要望をされているのかお聞きします。

**答** 町道では、カーブミラーや区画線の設置等により、対策を講じております。また、県道では、交差点内のカラーペイント



事故が絶えない大窪県道交差点



一旦停止の町道交差点

やグリーンベルトの設置で対応いただいております。今回、町道側では、カラーペイントにより一旦停止を促す対策を行いました。運転者に対する交通安全の啓発も含めて、引き続き安全対策に努めてまいります。

#### 議員のコメント

御代参橋の横断歩道手前に注意喚起の路面表示を要望。通学路の水路側に転落防止のガードパイプの設置を要望。交差点には、赤色のカラーペイントで止まれるの文字を囲む路面表示を要望。死亡事故になりにかねない通学路、交差点の安全対策を要望しました。

# 介護予防の充実と介護ヘルパーの確保を 中国からの国内回帰企業の優先誘致を!



高橋 源三郎 議員

## 介護予防の充実と 介護ヘルパーの確保を

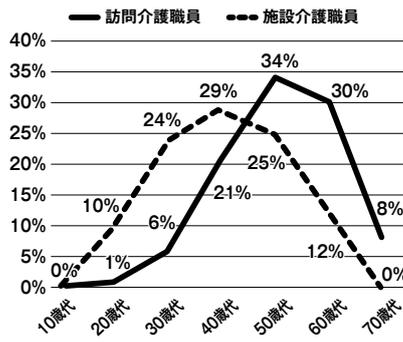
**問** 介護保険制度が実施されて丁度20年が経過しました。制度の発足当初は利用者はそれほど多くはなかったのですが、10年を待たずして利用者は急激に増え、日野町でも介護認定者数は平成12年度の発足当初の477人から、平成30年度には1,059人と2.2倍に増えました。

しかし、少子化と高齢化が同時に進む現在、それに比例して介護認定者や利用者の数は増えていきます。ところが、介護従事者は他のサービス業と比べ賃金が低いため、なり手が少なく、また訪問介護ヘルパーは年々高齢化しつつあります。〔図①〕

日野町は「第7期高齢者福祉・介護保険事業計画」で「元気・長寿・夢のあるまち『日野』」をスローガンに、誰もが安心して介護サービスを受けられる町を目指すとしています。

ます。そこで質問です。介護サービスと同時に、介護予防にも力を入れることが重要であると考えます。また介護従事者の大幅な賃金アップと、なり手の確保についての考え方を伺います。

介護職員の年代別構成表〔図①〕



**答** 介護予防については、町では平成18年度から地域の皆さんのお力で運動機能向上を図るおたつしや教室を始めている。平成27年度からは高齢者交流サロンの取り組みを進めている。また、在宅での運動や栄養指導などにも取り組んでいる。

介護従事者の人材確保については、介護職員初任者研修の周知や受講者に対する補助、就労

## 中国からの国内回帰 企業の優先誘致を!

**問** 日本企業の中には、安価な労働力の確保と巨大な人口を有する中国市場を狙って中国へ進出している企業が1万3700社あります。しかし、米中貿易摩擦の激化と、さらには中国武漢で発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、工場撤退を余儀なくされるといふ事態が発生し、中国への進出企業の多くは日本へ国内回帰せざるを得なくなりなりました。安倍政権も先の経済成長戦略で、本社や工場を地方へ移転することを促すため、法人税などの優遇措置の導入を決めています。そこで質問です。

鳥居平新田地先の鳥居平工業団地(4.6ha)が完成し、当初5つの企業が進出の名乗

者に対する奨励金の交付に努めている。賃金改善については国に対し、介護報酬の抜本的な見直しを求めていく。

りを挙げていたが4社が辞退との情報も聞きます。すでに受け入れ体制が整った工業団地を生かさない手はないと考えますので、日野町も開発業社と協力して、中国から撤退してきた企業を優先的に誘致してはどうかと考えますが、町の考え方を伺います。

**答** 鳥居平工業団地については現在5社と商談中で、1社との協議がまとまりつつある状況。なお、鳥居平工業団地に隣接の工業地域、特別工業地域の開発が計画されており、国内回帰企業の情報にもアンテナをはり、開発事業者と連携して情報発信に努めていく。

## 議員のコメント

これからの介護は、サービスより予防に力を入れたいと財源が持たないのでは。中国からの国内回帰企業は今、地方で土地を探している。この時期こそ企業誘致の最大のチャンスだ。

## 利用しやすいトイレへの改修を

西澤 正治 議員



### 利用しやすいトイレへの改修を

**問** 春の観光シーズンに入ると鎌掛字内にも多くのお客様が来町されます。本年は新型コロナウイルスの影響により、お客様は減少すると思いますが、鎌掛城山跡、また山屋敷跡に多くの登山者やハイキング客が来訪してくれそうです。

昨年は、観光客用トイレとして藤の寺のトイレを洋式に改修していただき、利用者からは大変喜ばれ、気持ちよく使用していただいております。当字には、森林交流センターにトイレが設置しており、一般公衆トイレとして開放し、字運営にて清掃管理しており、気持ちよく利用してもらえようように心掛けています。しかし、平成3年に設置してあり、改修時期がきています。字民はもとより、観光客、路線バスの客の利便性の向上を図りたいと思います、トイレの洋式化

について多くの利用者からの要望もあり、生活向上の為に一考願います。

**答** 鎌掛森林交流センターについては、平成3年度に整備され、その後は鎌掛運営管理組合が管理されているものと承知しています。

観光バスの乗降場所や公民館のトイレをご利用いただくなど



鎌掛森林交流センターのトイレ (内)



鎌掛森林交流センターのトイレ (外)

の工夫もしていただいております、観光客の利便性の向上を図りたいとの考えだと思えます。トイレの洋式化については、補助制度の活用などを研究させていただきます。

### 議員のコメント

まちづくりの基本でもある公共施設の強化が必要でないか。町としても、集落任せにせず、行政サービスの提供を行い来訪者や地域住民が安心して暮らせる町に努力してもらいたい。

# 財政見込みとふるさと納税のあり方は

## 平和堂日野店の跡地問題は

### これからの高齢者福祉の課題について



山本 秀喜 議員

#### 日野町の財政見込みとふるさと納税のあり方は

**問** 新型コロナウイルスの拡大により、異常なほどに経済を揺るがす事態になってきており、歳入においていつ頃からどのような影響がでてくるものなのか。

**答** また、町の将来を見据えた財政運営をどうしていかなければならないか、考えを伺いました。

①令和元年度10月期から3月期まで大幅なマイナス成長と考えた場合、いつ頃から影響がでてくるものなのか。

**答** 法人町民税において、現在のところ大きな影響がないとみえますが、主要企業の確定申告書の提出期限である、令和2年6月下旬には影響の度合いが確認できるものと考えています。

**問** ② 扶助費は今後も増加傾向にあると考えているのか。

**答** 保育園の運営や障がい福祉サービス、高齢者施策にかかる負担など、法令や制度等に基づく経費が増えていくと考えています。

**問** ③ 町道西大路鎌掛線の道路改良工事の総工費が、19億から20億かかると言われていますが、その予算の獲得方法は。

**答** 引き続き国の社会資本整備総合交付金を、事業計画に合わせ活用したいと考えています。

**問** ④ ふるさと納税での歳入確保をどう捉えているか。

**答** ふるさと納税制度は、自分の出身地や応援したい地域を応援する納税者の気持ちを橋渡しし、支え合う仕組みとして活用されてきています。

日野町でも日野駅再生プロジェクトなど、県内外から多くの方にご寄附をいただき、貴重な財源として活用させていただいていますが、地方財政を支える根幹の制度ではないと考えます。



総務省ホームページに日野町がふるさと納税の好事例として紹介

#### 平和堂日野店の跡地問題は

**問** 平和堂跡地の取得に向けての決断は。それはいつ頃の予定なのか。予算の獲得方法は。利活用の方法は。それぞれ町の見解を伺いました。

**答** 住民のみなさんからのご意見を踏まえ、用地の取得について判断し、交渉を進めています。町の一般財源を使用し、防災機能とともに、賑わいを創出できる「ひろば」を主な目的とし、活用したいと考えています。

#### 超高齢化社会に向けての高齢者福祉について

**問** 人生100年時代、20年先の2040年には、超高齢化社会が到来してくる「農村部だけでなく大都市部においても高齢化が社会問題になってくる」このような中、現状の課題、問題点を整理しつつ、先を見据えた施策について伺いました。

① 介護ヘルパーさんの不足を聞く。現状をどう捉えているか。

**答** 全国的な課題と認識していますが、多様な人材の確保・育成を図るため介護に関する入門的研修の実施等、進めていきたいと考えています。

**問** ② 認知症により行方不明にならない対策は。

**答** 見守りQRコードシールにより、24時間体制で早期発見につなげるサービスを、昨年2月より実施しています。

**問** ③ 介護予防と地域医療・介護・福祉連携ネットワーク研究会（わたむきねっと）の実情は。

**答** 社会参加の視点から、高齢者交流サロンなどの取り組みを進めると共に、生涯スポーツや趣味活動、更には高齢期における就労や地域での活動なども必要であると考えています。

ネットワーク研究会において、高齢者の生活に密着した課題を取り上げた研修会を開催し、連携を深めています。

#### 議員のコメント

この議会だよりが発行される頃には、新型コロナウイルスの影響が縮小していることを願うばかりです。

## 近江鉄道の存続を望む

## 食料自給率の向上、 地域農業・家族農業を守るために



池元 法子 議員

### 近江鉄道の存続を望む

**問** 日野町にとっても近江鉄道の存続は、死活問題とも言えるものです。

近江鉄道の再生などを目指して、県と沿線5市5町などをつくる法定協議会も設置され、利用状況を調べる住民アンケートを実施し、この3月にも鉄道の存続・廃止を決めるとしました。

① 昨年12月議会以後の法定協議会等の進捗状況・現況を伺う。  
② 3年計画で行われた「日野駅再生プロジェクト」の総事業費、その財源（国・県・町等の補助金・負担金）と、国

の受け止めについて伺う。

**答** ① 法定協議会では、利用状況・意向把握のため、沿線住民や近江鉄道利用者、事業所、学校等を対象にアンケート調査を実施、現在集計中である。

沿線市町や近江鉄道（株）、日野町でもフォーラム、講演会等の開催で県民・町民のみならずの鉄道を盛り上げる気運を高めている。

② 日野駅再生プロジェクトは、現在「小さな鉄道ミュージアム」の整備の仕上げをしており、「なないろ」を中心に賑わいを見せている。これまでの総事業費はおよそ1億3千7百万円、



近江鉄道で地域を元気にするフォーラムの様子（必佐公民館）

国の補助金はおよそ3千3百万円、ふるさと納税などの寄附で7千2百万円、町費3千2百万円である。

総務省が発効した「ふるさと納税の活用好事例」として評価を受けている。

### 食料自給率の向上、 地域農業・家族農業を 守るために

**問** 2018年に発表された日本の食料自給率は史上最低の37%と先進国中で最下位。

国連は、2019年から10年間を、飢餓と貧困の克服、持続可能な社会のために家族農業の役割を再評価し、各国に政策転換を求め、「国連家族農業の10年」としました。

しかし日本政府は、「農業の産業化」を標榜し、家族農業を締め出す「農業・農協改革」を推し進め、このままでは農村地域を維持することすらままならないと言われています。種子法廃止から2年、続いて種苗法の改悪をしようとし

ている状況を、当局はどのように考えておられるのかお尋ねします。

**答** 種苗法を改正する法案が国会で審議される。

農業生産にとって、手続きや費用など新たな問題が生じる懸念もあり、農業者等への丁寧な説明と周知が必要、拙速に行うべきではないと考えている。

家族農業も集落営農も大規模農家も含め、農業・農村が支えられているということに国策もしていくべきではないかと考える。

### 議員のコメント

1. 日野町でも高校生の通学利用が多く、それが近江鉄道を支えていると言っても過言ではないと思う。しかし、高料金であるため、今後の協議のなかで、通学定期の引き下げの検討をぜひ。

2. 食の安全は農家だけの問題ではない。アレルギーや遺伝子組み換えなど子どもたちの命に関わる視点でもとらえたい。

# 防災情報伝達システムの構築に向けて 新型コロナウイルスの感染防止策は 地域医療提供体制は 中山間地域等直接支払交付金の活用を



齋藤 光弘 議員

## 防災情報伝達システム の構築に向けて

令和2年度の整備計画について一問一答で質問しました。

**問** 屋外拡声器の使用目的は。

**答** 避難をされた際に気象情報や避難情報等を伝達する目的。

**問** タブレット端末使用目的は。

**答** 区長や町代の方にタブレット端末を配布し、情報伝達と地域の被害報告、地域の方へ情報発信することなど可能にしたい。

**問** 指定避難所のWi-Fi整備は。

**答** 役場庁舎と公民館と図書館で12基を整備し、それ以外は、今後検討する。

**問** 個別計画の支援する体制は。

**答** 災害時における要支援者の支援体制に各字理解いただいた。毎年、町が更新し民生委員さん

に確認いただくことになる。

## 新型コロナウイルスの 感染防止策は

早期収束を願いました。

**問** 感染の症状がみられる場合は、どう対処するのか。

**答** 「帰国者・接触者相談センター」へ電話・相談するよう案内している。

**問** 感染医療体制は、どうか。

**答** 滋賀県における検査機関は、大津の衛生科学センター1か所で検査実施が可能となっている。感染症指定医療機関は、東近江圏域では「近江八幡市立総合医療センター」で4床、県内全域では34床が確保されている。

**問** 教育現場の対応は。

**答** 町内5小学校全てで児童の預かりを実施。中学校3年生を対象に質問教室を開催。学童保育所では、7時30分から19時ま

での間、児童の受け入れをしていただくなどの対応をしている。

## 地域医療提供体制は

東近江圏域の地域医療提供体制の充実を願いました。

**問** 東近江圏域の現状と課題は。

**答** 医師の数は「多数」区域となっているが、必要な医師の確保を図っていく。課題として、回復期病床を充実させることと、在宅医療の体制整備が必要。地域医療構想は、病床数や在宅医療等のニーズに対応する医療体制をつくるため、調整会議において役割分担や連携の仕組みを構築する取り組みが進められている。

**問** 在宅医療への移行を進める医療機関との連携は。

**答** 地域における医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を行うことが必要。町では、医師会の協力により「わたむきねっと」が設立され、多職種の相互理解や資源の把握、連携の

在り方等を考えていただいている。

## 中山間地域等直接支払 交付金制度の活用を

町の取組み姿勢を質問しました。今後の取り組み計画は。

**答** 農地の勾配面積調査を行い、該当する区域の指定申請を進める。併せて取り組みを関係集落と協議する。

**問** 町長の見解を聞く。

**答** 棚田地域振興法が施行され、勾配、面積要件を満たした地域は対象となったことから、取り組みに向けて検討を進めたい。

## 議員コメント

防災情報伝達システムの構築により、災害時の避難情報伝達に有効活用し、確に機能するよう力を合わせましょう。新型コロナウイルス感染防止に県の医療検査体制が大津の衛生科学センター1か所では問題ではないでしょうか。地域医療体制の充実の重要性を強く感じ要望しています。



# 新型コロナウイルスなどの拡大時における医療体制

## 不登校・ひきこもり(青年)の「居場所」づくり支援

加藤 和幸 議員

### 新型コロナウイルスなどの拡大時における医療体制について

**問** 新型コロナウイルスによる感染拡大が憂慮されている。もし当町で多数の感染者が出て、町内の病院・医院間、近隣市町の病院などと診療の連携や役割分担が必要になる場合も予想される。そういう時にはどこ(行政、医療機関など)がイニシアチブを取って進めていくことになるのか、お伺いします。

**答** 県感染症予防計画では、市町は、国および県と連携を図りつつ、患者の人權を十分に尊重し、正しい知識の普及や予防接種の実施を主としたまん延防止の施策を実施することとされている。新型コロナウイルス感染症の患者等については、原則指定医療機関の感染症病棟に入院させる、となっているが、緊急その他やむをえない場合は、指定医療機関以外の医療機関に入院させることが可能となっており、多数の感染者が出た場合に備え、東近江保健

所においては、圏域における感染症指定医療機関以外の医療機関との調整を図るとされている。

### 不登校・ひきこもり(青年)の「居場所」づくりに支援を

**問** 弱い立場にある人の就学と社会参加を保障する流れの中で、「ひきこもり(青年)」の方の「居場所」づくりを中心に伺う。第二次大戦後の1947年に教育基本法が制定されるまでは学齢に達しても就学できない児童が少なくなかった。その主な原因は、経済的困窮と障がいであった。60年代に同和対策事業が制度化され、経済的困窮による未就学は減少し、79年の養護学校義務化によって、それまで「就学免除」というかたちで家庭に置かれていた重度障がいを持った子どもたちが養護学校に通い、「学び」が保障されるようになった。

このことは大きな前進であったが、卒業後が次の課題になった。今度は親や先生方が中心になって共同作業所をつくる運動が日野町でも行わ

れた。また、親が亡くなったあとの暮らしをどうするのかという課題からグループホーム建設へと進んだ。それらはいずれも当事者の努力から始まり、学校から社会へ、民間から行政へというみちすじであった。「ひきこもり(青年)」支援のみちすじを伺う。

①今年度後期から始められた適応指導教室の概要を伺う。  
②「ひきこもり(青年)」実態調査の結果はどうか。

③「ホッとスペースのびのび」の概要を伺う。

④「ひきこもり」は、時間をかけて自分の思いを吐き出せる「居場所」が必要とされている。町内でも10年近く前からNPOで「居場所」づくりに取り組んでおられる所があるが、経済的な裏付けがなく、ボランティアに頼っている。民間のNPOに対する支援はどうか。

**答** ①令和元年9月から勤労福祉会館で「日野町サポートスクール・ステップ」という名称で開設

小4〜中3の不登校児童生徒が対象。月々金の9時から12時30分。現場経験のある指導員が個別指導。

②その定義は「おおむね15歳以上、6ヶ月以上仕事や学校に行かず、家族以外と交流がなく自宅に引きこもっている方」で民生児童委員の調査結果では43名、うち75%が男性。

③毎月第1第3水曜の午前、図書館会議室。これまで10回の延べ参加者、保護者16名、小学生10名、中学生1名、高校生6名、大人の当事者7名、支援者17名。

④現在、NPOへの経済的な支援は行っていない。今後、連携や協力できる部分については町も一緒に取り組みたい。

### 議員のコメント

新型コロナウイルスの日野町における感染者は3月末現在判明していないが、十分な緊張感、正確な知識を持って対処したい。バリアフリーがぜひいたくなものと考えられていた時代から、今では駅のエレベーターなどは当たり前になっている。ひきこもりの方の発する要求に耳を傾ける時代でありたい。

## 安心して産み育てやすい環境の充実を 食品ロス削減について



中西 佳子 議員

### 安心して産み育てやすい環境の充実について

**問** 日野町では毎年百人以上の方が出産されています。現在、核家族化が進み、地域社会との関わりも希薄化する中で、不安なく妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援が重要であり、環境充実について伺う。

①町には産院がないが、他市町への通院が困難な状況はないのか。

②相談対応状況は。

③産後ケア事業の状況は。

④多胎妊産婦への支援状況は。

⑤妊産婦等への育児用品等による支援の考えは。

**答** ①町内に産科があるというのに、との声を聞いているが、具体的な相談等は伺っていない。

②母子健康手帳の交付時に体の調子、心配事、産前産後の協力的体制等の聞き取りを行い対応している。

③生後2ヶ月を迎えるころまで

に、助産師や保健師が新生児訪問を実施し、相談があった場合は授乳・育児サポート訪問を実施している。なお、民生委員児童委員協議会では、「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施されている。

④妊産婦それぞれに色々な悩みをお持ちだと思いますが、保健センターでは、妊産婦にあった指導を行っている。「ぼけっと」では、多胎児を持つご家庭の交流事業を実施している。

⑤「パパママサロン」において妊婦やご家族による赤ちゃんへのプレゼントづくりや民生委員児童委員による訪問時に「おしり拭き」を配付いただいている。

### 食品ロス削減について

**問** まだ食べられるのに捨ててしまう「食品ロス」を減らすため食品ロス削減推進法が施行された。食品ロス削減は誰もが取り組める身近な課題とも言えます。町も食品ロス削減に積極的な取り組みを進めるべきと考え、何点か伺う。

①町の食品ロス削減についての見解を伺う。

②町の食品ロスの実態状況はどの程度と考えているか。

③食品ロス削減に向けて消費者事業者等に対する知識普及啓発への考えは。

④フードバンク活動の支援や家庭で余った食品を回収し、必要とする人に届けるフードドライブの取り組みへの考えは。

⑤学校での取り組みは。

**答** ①食品ロス削減に向けて取り組むことは、必要であると認識している。食べ物を無駄にしない意識の醸成とその定着を図っていくことが重要。

②食品ロスの調査は行っていないが、平成30年度の環境省の実態調査によると家庭系収集ごみの31%が食品廃棄物で、その内35.6%が食品ロス分であり、その割合で計算すると、年間1,352トンが食品廃棄物で、その内481トンが食品ロスだと推計される。

③食品ロス削減に向けて国や県な

**議員のコメント**

誰もが住みやすい町になるよう環境整備を願います。食品ロス削減は啓発をしっかりしていただき、フードドライブの取り組みのように活かしていく努力を望みます。



どと連携して事業者に協力を求めるとともに、消費者に理解と関心を深めていただく必要がある。

④フードドライブの取り組みは安全の確保、回収方法のルール作りや協力団体呼びかけ、配付時にどのような方を対象とするか課題も整理する必要がある。

⑤環境に配慮した生活、材料やごみを出さない工夫など、学校給食を生きた教材とした食育を進めている。今後も食品ロスにつながるよう指導していきたい。

## スポーツ施設の整備は

## 通学路の安全確保は



谷 成隆 議員



日野高校格技場で練習している子どもたち

### スポーツ施設の整備は

**問** 第5回日野町少年少女レスリング大会を開催され、主催する日野レスリングクラブから36名を始め県内外より39チーム419名が参加し、日頃鍛えた技を発揮されました。日野レスリングクラブは週3回、日野高等学校の施設を使用させて頂きレスリングを通して体づくり運動レクリエーションまたは本格的なマットワークに取り組んでおられます。対象者は、5歳から社

会人と幅広い年齢層が同じ場所です。活動し、世代を超えたコミュニケーションを図ることが狙いの一つにもなっています。「地域活性化」スポーツの力で地域を盛り上げていく為、様々な活動で地域に貢献もされています。

①平成31年3月議会に「レスリング競技を子どもたちが練習できる日野町営施設の整備」を求める決議について町の考えをお伺いします。  
②大谷公園施設プール（B&G海洋センター）の現状についてお伺いします。

**答** ①現在は、高等学校の格技場において行われていますが、この場所で小学生32名、中学生9名、高校生15名及び指導者12名が入るとなると手狭になる状況を聞いており、今年度予算において大谷公園体育館への練習場整備を計上したところです。  
②施設の老朽化、利用者の減少により平成31年度より休止状態

です。健全度調査を実施し、結果は健全度Dの評価を受け、使用は困難であり今後の活用について検討していきます。

### 通学路の安全確保は

**問** 大津市の事故以来、通学路及び保育園児のお散歩コースなど安全点検を行い、危険箇所を把握され、安全に登下校やお散歩が出来る様にされたと思いますが、

①どの様にされたのか、現在の状況をお伺いします。  
②今後どのように計画されているのかお伺いします。

**答** ①安全点検は毎年実施、未就学児が日常的に集団で移動する経路を、関係する課が合同で緊急安全点検を行い、通学路を含め35カ所で安全対策を実施。  
②安全対策は、防護柵、ポストコーンの設置及びラインの引き直し等、今年度中に29カ所を完了、令和2年度中に6カ所を実施予定。

### 議員のコメント

日野町は、モスクワオリンピックレスリング競技日本代表選手でありました滋賀県立日野高等学校南敏文教諭の熱心な指導により、今まで多くの日本を代表するレスリング選手を輩出していたが、レスリングの町、日野町と名を高めています。日々の練習もご厚意により、高等学校の格技場を使用させていただき練習をしている現状です。一日も早いレスリング競技練習場の整備が必要です。老朽化した大谷公園施設プールの改修と、レスリング競技を子どもたちが練習できる施設を組み込み整備して頂きたいと考えます。

# SDGs (持続可能な開発目標) を町政に活かすことについて



堀江 和博 議員

「SDGs (エスディージーズ)」とは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年に国連で決められた2030年までの国際社会共通の目標を指します。

行政、企業、NPO、大学、個人などあらゆる立場で取り組みが進められており、滋賀県も2017年にSDGsを県政に活かすことを宣言するなど、取り組みに積極的な自治体が増えています。



SDGsが示す17のゴール(目標)

**問** SDGsを町政に活かすことについて、当局の見解をおたがいます。

**答** SDGsは国際社会共通の目標であり、発展途上国だけでなく先進国も現状の問題に目を向けるという、全世界の課題を包括的にまとめたものだとして理解している。

掲げる17の目標は、福祉、教育から産業振興まで自治体を取り組むべき本来の役割が含まれており、各事務事業の中で取り組んでいるものと考えている。地球規模で取り組むものから身近なものまであり、どれも町政の各施策と結びつくものである。

各施策の中でSDGsの考え方や目標に対して共に取り組む大学や企業、NPO、個人とも連携することで、さらに広がりのある取り組みが可能になると考えている。

しかし、現在のところは、あえてSDGsとして各施策を明示して取り組む必要はないと考えている。

議員のコメント

自治体がSDGsを取り入れるメリットは多く、「①企業やNPO、大学等とパートナーシップを組みやすくなる」ほか、17の目標の視点から「②新たな社会課題の発見につながる」こと、取り組んだ結果「③自治体の魅力づくりにつながる」ことなどが考えられます。

形式的にSDGsに取り組むことに意味はありません。国際的な視野を持ち、激変する社会環境をとらえ、本質的な意味からSDGsに取り組むことが重要です。

今回、町当局は、あえて「SDGs」として取り組むことは考えていないとの答弁でした。多少時間はかかるかもしれませんが、SDGsの視点から町の将来ビジョンを策定するなど、本質的な意味からSDGsに取り組む方向性を見出して欲しいと思います。

# 国道307号渋滞対策、県道西明寺安部居線、町道奥之池線の進捗と今後は？



## 相次ぐ役場職員の失錯、不祥事。コンプライアンス意識と指導体制は？



スマホのカメラで読み取ると一般質問の動画がご覧いただけます。

後藤 勇樹 議員

### 桜谷地区道路行政の現状、今後は問う。

**問** 9月議会、12月議会に続き同地区道路行政の現状と今後の予定をいただきました。

12月に発定した工業団地企業組合、県、町による3者協議の進展は。また農水管理移設工事が進む県道西明寺安部居線第一工区の進捗を伺う。桜谷小前の現道拡幅にも早期着手し、老朽化した池川橋も架け替えを強く要望する。さらに町道奥之池線の進捗状況と水害対策等、今後の予定を伺う。

### 答 (商工観光課・建設計画課)

国道307号渋滞緩和に向けて3者協議を12月17日に開催し、同月26日には信号機、横断歩道の設置も含め東近江警察署長宛に要望書を提出し、信号機連動等の調査をしていただいている。町も自転車通勤の時間帯を確認中。

県道西明寺安部居線は進行中の農水管移設に加え、バイパスの

盛土工事の発注準備中。現道拡幅も工事の進捗を見ながら着手していきたい。池川橋は新橋梁へ更新予定。町道奥之池線は用地取得も完了し順調に推移している。要望の排水路整備も盛り込み令和5年度には供用開始予定。



水害の要因ともなる老朽化した池川橋(佐久良)

### 相次ぐ職員の失錯や不祥事。町幹部の管理体制を問う。

**問** 多発する職員のミスや不祥事について、コンプライアンス(法令遵守)意識や幹部の指導体制をいただきました。

議会で議決した起債の限度額を超える借入が発覚した上下水道課、積算ミスにより3度も入札がやり直しされたり、北脇との協定を知りながら動物の死骸の一部を可燃ごみとして数年に渡って日野清掃センターで焼

却処分し続けた農林課、また同清掃センターでは、煤塵(ばいじん)に含まれるダイオキシン類濃度が基準値の約1.3倍を検出しているながら職員が記録を改ざんして滋賀県に報告していた事件も発覚し、税務課では固定資産税の課税忘れが複数発生するなど、近年町職員による失錯や不祥事が相次いでいる。また昨年末には支援学級の生徒やその家庭の個人情報やインターネット上に開示するなどのミスまで発生した。一方、公用車による交通事故も多発しており、これらに対する当事者や管理者の処分、指導、改善策、町幹部の管理体制を伺うと同時に、改善策によって具体的にどれくらい改善されたか数字で表してほしい。

### 答 (副町長・総務課)

事務処理上の単純ミスは不祥事ではないと認識している。ミスが発覚したら早期にチェック体制を見直している。職員の処分は重大さによって異なるが本

人の面前で書面や口頭で注意をしている。再発防止に向けて研修会等を開催し、職員の自覚を促しているが、改善策によってどれくらい減少したかは数字でお答えするものではない。

### 議員のコメント

一般質問では新型コロナウイルスや感染症への対策もただしたが、この問題については他議員も同様の質問をされているので掲載は割愛した。県道西明寺安部居線の改良工事については池川橋の新設が叶う見通しとなり、地元の期成同盟会としても県東近江土木事務所、町建設計画課に感謝申し上げる。引き続き第二工区についても予算獲得に全力を尽くしてもらいたい。職員の失錯や不祥事が多発している点については副町長の聞き直りともとれる発言であったが、長時間残業や人手不足も一因と思われる。また長期にわたる藤沢町政により、行政業務における緊張感の欠如や、なれ合いもこれらの大きな要因となっていることとは否めないと感じる。

# 令和元年度 野矢の質問総ざらい - 住民参加の自治は実現されるのか -

※わかりやすいように、できるだけ簡単な表現に編集しています。



## 野矢 貴之 議員

### 住民参加の自治実現へ

**問** 住民参加の自治への継続的な施策は？

**答** 自治会や各種団体の活動を支援している。

**問** 公民館の公用車を自治会が購入して町へ寄付する仕組みなのはなぜ？

**答** 住民の熱意でご寄付いただいている。

**野矢考察** 町の事業に、自治会費を充当している。慣例の見直しを求める。

**問** 投票率向上のためにできることは？

**答** (できる返答だけ抜粋)

・年代別投票率の公表(国・県選挙一箇所のみ)

・選挙公報ウェブ掲載(次期町長選挙より)

**野矢考察** 少しずつだけれど大きな一歩を評価したい。同時に、日常的な施策も必要である。



**問** 日野町の課題の見える化はできないか？

**答** 広報の資料から判断してもらえるものと考えている。

**野矢考察** 予算や決算など広報の資料から、日野町の抱える課題の本質をつかめる人がどのくらいいるだろうか？

**問** 課題解決を促進する施策は？

**答** 行政懇談会や車座懇談会をおこなっている。

**野矢考察** 計画的に行政課題を解決する仕組みが見えてこない。課題発見・分析・解決策・実行・検証といったPDCAサイクルのどこに行政と住民は関わるのか明確にしたい。

### 地域の課題あれこれ

**問** 通学路に危険なブロック塀はないのか？

**答** 通学路の危険なブロック塀は全て対応済みである。



**問** 民生委員・児童委員で見守りオムツ配達をできないか？

**答** 新体制となり十分な話し合いが必要である。

**問** 外国人の防災対策は？

**答** 導入予定の防災アプリで多言語対応ができる。

**問** 学校の登下校にバスを利用できないか？

**答** 全員がバス通学は難しい。バスが利用できない地域もある。

**問** 福祉乗車証ができた経緯は？

**答** 当時バスに乗る人がいなかったため、少しでも乗ってもらうためにはじまった。

**野矢考察** 町営バスは、義務教育の子どもが有料で、福祉乗車証が無料。現在の情勢に制度が合っていない。見直しを求める。

### 野矢貴之の「コ」がポイント!



地域の課題は多様化、複雑化し行政単独で取り組むことには限界がある。行政単独でできないのであれば、答えは簡単だ。みんなですればいい。住民に行政課題の解決に主体的に関わってもらうことこそ、『住民参加の自治』であり、これからの地方自治体に必要。仕組み、なのだ。そのため、  
\*課題の公開+情報の共有\*  
が不可欠とされるが、日野町の場合はどうだろう。日野町の課題とは何か、住民が共有できているだろうか？  
住民意識調査の結果は、住民参加は十分とは言えない結果が出ている。当局は、「理解しているし、やっている」という姿勢だ。住民に伝わっていない課題がたくさんあるという自覚はないようだ。

次ページは

提出された議案と結果

案 件 名	結 果 (*1)	野 矢	山 本	高 橋	加 藤	堀 江	後 藤	奥 平	山 田	谷	中 西	齋 藤	西 澤	池 元	杉 浦
日野町道路占用料徴収条例（一部改正） 道路占用料を道路法施行令に準じて改めるもの。	原案可決 (産業建設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町公共土木事業分担金徴収条例（一部改正） 分担金を徴収する事業に雨水排水事業を追加するもの。	原案可決 (産業建設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町公民館設置条例（一部改正） 関係法令の一部改正に伴う改正。公民館長が会計年度 任用職員へ移行することに伴い、規定の見直しを行う もの。	原案可決 (総務)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町議会議員政治倫理条例（一部改正） 関係法令の一部改正に伴う改正。条例で規定している 町の職員について、見直しを行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

### 補正予算（9議案）

令和元年度 一般会計（第5号）、（第6号）、国民 健康保険特別会計（第2号）、簡易水道特別会計（第 1号）、公共下水道事業特別会計（第2号）、農業集落 排水事業特別会計（第1号）、介護保険特別会計（第 3号）、後期高齢者医療特別会計（第1号） 令和2年度 一般会計（第1号）	原案可決 (予算)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
--	--------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

### 当初予算（9議案）

令和2年度 一般会計、国民健康保険特別会計、簡易水道特別会計、 農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計、後期 高齢者医療特別会計、西山財産区会計、水道事業会計、 下水道事業会計	原案可決 (予算)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
--	--------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

### 請願の審査（2件）

家族農業を守り食糧自給率の向上を求める請願 (請願団体) 食と農、地域を守る日野連絡会 代表者 荒川武雄氏 (紹介議員) 西澤正治議員・齋藤光弘議員	採 択 (産業建設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日米 FTA 交渉入りに反対する請願 (請願団体) 滋賀県農民組合連合会日野支部 支部長 東正幸氏 (紹介議員) 西澤正治議員・齋藤光弘議員	継続審査 (産業建設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	/

\* 「×」は継続審査に反対

### 意見書の決議（3件）

地域農業、家族農業の役割を再評価し、食糧自給率向 上を求める意見書 提出者 山田人志産業建設常任委員長	決 議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
生活を守る経済政策を求める意見書 提出者 中西佳子総務常任委員長	決 議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町水道料金の引き下げの施策を講じることを求め る決議 提出者 齋藤光弘厚生常任委員長	決 議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

\* 意見書決議の内容は、日野町ホームページ（議会）をご覧ください。事務局までお問い合わせ下さい。

### 選 挙（1件）

日野町選挙管理委員・選挙管理委員補充員の選挙 全議員「異議なし」で、議長が指名推選を行いました下記のみなさんが当選されました。 選挙管理委員…奥野友一氏（蓮花寺）、岡崎孝夫氏（大窪）、久村幸彦氏（十禅師）、竹村信治氏（鎌掛） 選挙管理委員補充員…小西廣氏（下駒月）、堀井孝郎氏（小野）、石岡英明氏（大窪）、蒲生行正氏（音羽）															
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 提出された議案と結果

○賛成 ×反対

\*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数のみ「議長採決」として表明します。

案 件 名	結 果 (*1)	野 矢	山 本	高 橋	加 藤	堀 江	後 藤	奥 平	山 田	谷	中 西	齋 藤	西 澤	池 元	杉 浦
<b>人 事 ( 6 議 案 )</b>															
日野町公平委員会委員 (選任) 長束晶氏 (中之郷・再任)	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町情報公開・個人情報保護審査会委員 (委嘱) 石塚武志氏 (京都市・再任)、伊藤慧氏 (大津市・新任)、 本多滝夫氏 (大津市・再任)、井上順子氏 (原・再任)、 瀧井恭子氏 (大窪・再任)	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
<b>一部事務組合の協議 ( 1 議 案 )</b>															
滋賀県市町村職員退職手当組合規約の変更 滋賀県市町村交通災害共済組合が脱退することおよび 当該脱退に伴い組合規約を変更することについて協議 されたもの。	原案可決 (総務)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
<b>財産の処分 ( 1 議 案 )</b>															
町有財産の処分 町有財産を株式会社向茂組へ有償譲渡するもの。 土地…大字松尾字脇ヶ谷 250 番ほか 15 筆 地積合計…47,351.60㎡ 売却価格総額 30,541,782 円	原案可決 (総務)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
<b>条例の制定・一部改正 ( 1 3 議 案 )</b>															
日野町森林環境譲与税基金条例 (制定) 国から譲与を受ける森林環境譲与税を活用し、森林の 整備およびその促進を図るための基金を新設	原案可決 (産業建設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町監査委員に関する条例および日野町水道事業の 設置等に関する条例 (一部改正) 関係法令の一部改正に伴う改正。引用条文の位置が地 方自治法上において変更となることから、引用箇所を 改めるもの。	原案可決 (総務)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町印鑑条例 (一部改正) 印鑑登録について、成年被後見人に係る権利制限につ いて見直しを行うもの。	原案可決 (総務)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町職員のサービスの宣誓に関する条例 (一部改正) 会計年度任用職員のサービスの宣誓に関する規定を定める もの。	原案可決 (総務)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
特別職の職員の給与等に関する条例 (一部改正) 教育長の給料を1ヶ月間減額するもの。	原案可決 (総務)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町手数料徴収条例 (一部改正) 関係法令の一部改正に伴う改正。住民票の除票の写し および戸籍の附票の除票の写しの交付が制度化された こと等に伴い、手数料の種類を改めるもの。	原案可決 (総務)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町災害弔慰金の支給等に関する条例 (一部改正) 災害援護資金の償還免除の対象範囲が拡大されたこと 等に伴い、償還金の免除等に関する規定を改めるもの。	原案可決 (厚生)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町営住宅の設置および管理に関する条例 (一部改正) 修繕費用の負担、敷金の債務への充当等についての整 理等見直しを行うもの。	原案可決 (産業建設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町道路構造に関する技術的基準を定める条例 (一 部改正) 関係法令の一部改正に伴う改正。自転車通行帯に関す る規定の追加および自転車専用道路等の幅員の基準の 見直しを行うもの。	原案可決 (産業建設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

(\*1) 結果の下の ( ) は審議を付託した委員会・特別委員会の名称

# ここに注目！委員会の報告

## 総務常任委員会

### ○ 町有財産の処分について

株式会社向茂組（東近江市）により鳥居平地先にて開発中の鳥居平工業団地に関連し、新たに松尾地先にて町が所有する土地を3,054万1,782円で町から向茂組に売却する議案について審議しました。

この議案は同地先の町有地売却額のうち9割にあたる2,748万7,604円を補助金として町から松尾1区に交付し、1割に当たる305万4,178円を町の収入とするというものです。（右図参照）



■の部分には処分(売却)を行う町有地

### ○ 「生活を守る経済政策を求める意見書」を政府に提出

新型コロナウイルス対策を踏まえ「消費税を5%に戻すことを求める意見書(案)」が加藤和幸議員より提案されました。本委員会にて審議の結果、「生活を守る経済政策を求める意見書(案)」として中西委員長から提案することに合意しました。27日の本会議で意見書(案)は、議員全員賛成で決議し、政府関係機関に提出しました。

## 産業建設常任委員会

### ○ 「地域農業、家族農業の役割を再評価し、食糧自給率向上を求める意見書」を政府に提出

「家族農業を守り食糧自給率の向上を求める請願」が食と農、地域を守る日野連絡会代表の荒川武雄氏より提出され、本委員会にて審議の結果、採択されました。併せて「地域農業、家族農業の役割を再評価し、食糧自給率向上を求める意見書(案)」を、山田委員長から提案することに合意しました。27日の本会議で意見書(案)は、議員全員賛成で決議し、政府関係機関に提出しました。

### ○ 「日米 FTA 交渉入りに反対する請願」は継続審査に

「日米 FTA 交渉入りに反対する請願」が滋賀県農民組合連合会日野支部長の東正幸氏より提出され、本委員会にて審議の結果、継続審査とすべきものと決しました。27日の本会議では賛成多数で継続審査と決しました。

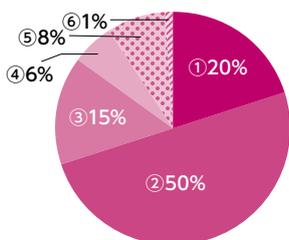
## 厚生常任委員会

### ○ 「日野町水道料金の引き下げの施策を講じることを求める決議」を町長に提出

「日野町水道料金の値下げに向け、施策を講じることを求める決議(案)」が高橋源三郎議員より提案され、本委員会にて審議の結果、「日野町水道料金の引き下げの施策を講じることを求める決議(案)」として齋藤委員長から提案することに合意しました。27日の本会議で決議(案)は、議員全員賛成で決議し、水道管理者である日野町長に提出しました。

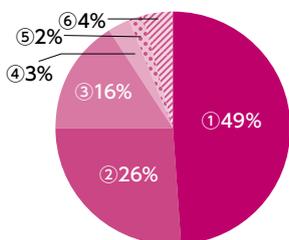
前号第9号の議会だよりでは、どうすれば投票率が上がるのか(ハード面)をお伝えしました。今回は、選挙の大切さ(ソフト面)を考えてみました。

## ①これから選挙権が与えられる高校2年生は「投票に行くが70%」、意識は高い! 県内の高校2年生全員を対象に実施した選挙意識調査結果(滋賀県選挙管理委員会)



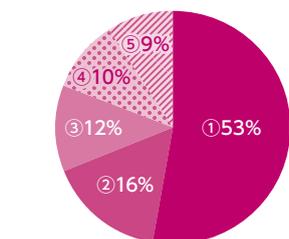
問1.あなたは選挙権があれば投票に行こうと思うか

- ①必ず行こうと思う
- ②できれば行こうと思う
- ③あまり行こうと思わない
- ④まったく行こうと思わない
- ⑤分からない
- ⑥不明・無回答



問2.問1で①②の方は何故投票に行こうと思ったのですか

- ①国民として投票すべきだと思うから
- ②国民の権利であるから
- ③投票することで政治がよくなると思うから
- ④政治や政治家に関心があるから
- ⑤支持する候補者・政党があるから
- ⑥その他・不明・無回答



問3.問1で③④の方は何故投票に行こうと思わなかったのですか

- ①政治に関心や興味を持っていないから
- ②投票しても政治がよくなるとは思っていないから
- ③支持する候補者・政党がないから
- ④政治や政治家を信じていないから
- ⑤その他・不明・無回答

令和元年7月から9月に、県内の高等学校に在籍する全ての2年生を対象にした調査結果です。

投票に行こうとする意欲をいかに行動につなげられるか—若い世代から、政治に参画する主権者教育の充実が重要となるでしょう。

今とこれからの社会をつくるためにも、政治への関心や興味を持ってもらう必要があります。まずは、自分たちの暮らしと政治とのつながりを分かりやすく伝えていくことが必要となり、これには、議会や議員の役割も大きいと思っています。

## ②私たちの暮らしは政治と深くかかわっています

私たちの身近なまちづくりから保育や医療、福祉、教育問題、更には道路やインフラの整備等々、暮らしのどれをとっても政治とは密接な関係にあります。何に大切な税金を使うのか、どのようなまちづくりを行うかは、民主的な政治によって決定されていくことが不可欠です。今の政治は私たちの意思が反映できている、できていない、一度立ち止まって考えたいものです。

## ③選挙は間接民主制の重要な柱となります

「人民の、人民による、人民のための政治」この言葉は民主主義政治の基本であり、私たちと政治との関係を象徴する言葉です。私たちが正当に選挙を通して、自分たちの代表者を選び、その代表者によって政治が行われます。この選挙により選ばれた代表者は、私たちの間接的代弁者であり暮らしに関わる重要な案件を決めていくこととなります。これら社会のルールである選挙を最大限に活かしてほしいと思います。

## ④まとめ

民主政治の基盤になるのは選挙です。日野町では7月に町長選挙が行われる予定です。これからの日野の未来を託す選挙となり、主権者として正しく意思表示することが大切です。地球環境問題を提唱したグレタ・トゥーンベリさんを始め、若者のみなさんの動きは政治に警鐘を鳴らし始めています。ご自身の意思を信じて一票を投じていきましょう。

\*「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。郵送・emailまたは議会事務局までご持参願います。

## 表紙写真を募集！

次号議会だより（第11号）の表紙を飾っていただく写真を募集しています。

- テーマ：「我がまち日野・夏」
- 内容：時節にあった人物、四季折々の風景やお祭り、地域行事等イベントの写真。
- 提出期限：7月10日（金）（8月15日発行の議会だよりに掲載予定）
- 提出方法：日野町議会ホームページに募集要項を掲載しています。  
「日野町議会」で検索しアクセスしてください。  
応募用紙と写真を日野町議会事務局まで送付ください。
- お問い合わせ：日野町議会事務局

【住所】〒529-1698 日野町河原一丁目1番地  
【電話】0748-52-6551 【FAX】0748-52-2044  
【Eメール】gikai@town.shiga-hino.lg.jp



### 議長コラム



議長 杉浦 和人

全員で住みよい町に

防ぐため国民が一致団結して、見えない病原体に打ち勝ち、早くこの事態が終息することを住民の皆様とご祈願致します。

さて、令和2年度国の当初予算が成立し、地方の一般財源総額63・4兆円、交付税は16・6兆円と、ともに前年度を上回る水準が見込まれました。地域社会再生事業、防災・減災、教育といった幅広い分野で地方の施策振興と負担軽減となる予算措置が講じられています。町は、令和2年度予算は過去3番目の大きな規模と説明されています。国の予算に準じ、安心して住み続けられる町づくり、4本の柱を基に事業の執行にあたられます。

議会にあっては現下の厳しい状況を鑑み「消費税減税を含めた経済対策を求める」意見書を政府関係機関に提出する一方、町長には「県下で一番高い水道料金の引き下げを求める」決議書を全会一致で提出致しました。

議会改革の一環として、住民からの要望である補修・改修で軽微なものを本会議でただす事より、議員全員協議会で共有課題として、当局と協議し関係機関に要請していく様にお願いを致しております。何よりも大切な事は、要望を早期に解決する事であり、引き続きワンチームで頑張ります。

### 編集後記

議会だより第10号、いかがでしたか。

今号は、2月に行われた新成人の方々との意見交換会や新年度予算の概要をわかりやすくお伝えすることに力を注いだ編集です。連載「選挙投票率を考える」も今回までです。

表紙写真を、引き続き募集します。

ともにつくる広報誌をモットーに努力します。ご意見・ご感想をお寄せください。

（加藤 和幸）

### 議会広報特別委員会

委員長	堀江 和博
副委員長	後藤 勇樹
委員	齋藤 光弘
委員	加藤 和幸
委員	高橋源三郎
委員	山本 秀喜
委員	野矢 貴之

日野町議会広報

日野町議会 議会だより

◆発行/日野町議会 ◆編集/議会広報特別委員会

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地

☎ 0748-52-6551 Fax 0748-52-2044

ホームページ <http://www.town.shiga-hino.lg.jp> メール [gikai@town.shiga-hino.lg.jp](mailto:gikai@town.shiga-hino.lg.jp)